

変更後

(4) 供用時における廃棄物搬入車両等の交通量

表-4(1) 供用時における廃棄物搬入車両等の交通量

予測地点3 (市原市道85号線・石塚)

(単位:台/時)

時間帯	一般交通量			資材等運搬車両			全体		
	小型	大型	合計	小型	大型	合計	小型	大型	合計
7~8	24	0	24	0	0	0	24	0	24
8~9	9	0	9	0	4	4	9	4	13
9~10	5	2	7	0	16	16	5	18	23
10~11	5	0	5	0	10	10	5	10	15
11~12	3	2	5	0	16	16	3	18	21
12~13	2	0	2	0	0	0	2	0	2
13~14	11	2	13	0	16	16	11	18	29
14~15	2	0	2	0	16	16	2	16	18
15~16	10	1	11	0	8	8	10	2	12
16~17	11	0	11	0	8	8	11	8	19
17~18	10	1	11	0	0	0	10	1	11
18~19	3	0	3	0	0	0	3	0	3
合計	101	8	109	0	100	100	101	108	209

予測地点4 (市原市道85号線・菅野)

(単位:台/時)

時間帯	一般交通量			資材等運搬車両			全体		
	小型	大型	合計	小型	大型	合計	小型	大型	合計
7~8	49	1	50	0	0	0	49	1	50
8~9	19	2	21	0	4	4	19	6	25
9~10	11	3	14	0	16	16	11	19	30
10~11	10	3	13	0	16	16	10	19	29
11~12	17	1	18	0	16	16	17	17	34
12~13	19	2	21	0	0	0	19	2	21
13~14	17	4	21	0	16	16	17	20	37
14~15	24	3	27	0	16	16	24	19	43
15~16	15	3	18	0	8	8	15	11	26
16~17	32	2	34	0	8	8	32	10	42
17~18	23	3	26	0	0	0	23	3	26
18~19	15	1	16	0	0	0	15	1	16
合計	251	28	279	0	100	100	251	128	379

参考 対象事業に係る環境影響評価の項目の選定への影響

(1) 活動要素の選定への影響

事業計画の一部変更に伴う活動要素の選定への影響を確認した。その結果は参考表 1 (1), (2) に示すとおりであり、すべての活動要素の選定結果への影響はないと考えられる。

参考表 1 (1) 活動要素の選定結果の確認の状況

段階	活動要素の区分	選定	選定する理由又はしない理由	計画変更に伴う選定結果への影響
工事の実施	樹林の伐採	○	工事の実施に伴って事業実施区域内の樹林の伐採を行うため、活動要素として選定する。	計画の変更においても工事の実施に伴って事業実施区域内の樹林の伐採を行うため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	切土又は盛土	○	切土・盛土工事を行うため、活動要素として選定する。	計画の変更においても切土・盛土工事を行うため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	湖沼又は河川の改変	○	切土・盛土工事により小河川が改変されるため、活動要素として選定する。	計画の変更においても切土・盛土工事により小河川が改変されるため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	海岸又は海底の改変	×	事業実施区域内には海岸又は海底はないため、活動要素として選定しない。	計画の変更においても事業実施区域内には海岸又は海底はないため、活動要素として選定しない結果に影響はないと考えられる。
	工作物の撤去又は廃棄	×	既存の工作物を撤去又は廃棄する行為はないため、活動要素として選定しない。	計画の変更においても既存の工作物を撤去又は廃棄する行為はないため、活動要素として選定しない結果に影響はないと考えられる。
	資材又は機械の運搬	○	工事の実施に伴って資材又は機械の運搬を行うため、活動要素として選定する。	計画の変更においても工事の実施に伴って資材又は機械の運搬を行うため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	仮設工事	○	仮設工事を行うため、活動要素として選定する。	計画の変更においても仮設工事を行うため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	基礎工事	○	基礎工事を行うため、活動要素として選定する。	計画の変更においても基礎工事を行うため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	施設の設置工事	○	施設の設置工事を行うため、活動要素として選定する。	計画の変更においても施設の設置工事を行うため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。

注) ○：活動要素として選定する。

×：活動要素として選定しない。

：対象事業が一般的な内容によって実施された場合の活動要素。

参考表 1 (2) 活動要素の選定結果の確認の状況

段階	活動要素の区分	選定	選定する理由又はしない理由	計画変更に伴う選定結果への影響
土地又は工作物の存在及び供用	施設の存在等	○	埋立地、浸出水処理施設等を設置するため、活動要素として選定する。	計画の変更においても埋立地、浸出水処理施設等を設置するため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	ばい煙又は粉じんの発生	○	ばい煙を発生する大規模な施設の計画はないが、廃棄物の埋立に伴い粉じんが発生するため、活動要素として選定する。	計画の変更においても廃棄物の埋立に伴い粉じんが発生するため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	排出ガス(自動車等)	○	自動車による廃棄物の搬入を行うため、活動要素として選定する。	計画の変更においても自動車による廃棄物の搬入を行うため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	排水	○	浸出水処理水を排水するため、活動要素として選定する。	計画の変更においても浸出水処理水を排水するため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	騒音又は振動の発生	○	廃棄物の埋立及び自動車による廃棄物の搬入に伴い騒音・振動が発生するため、活動要素として選定する。	計画の変更においても廃棄物の埋立及び自動車による廃棄物の搬入に伴い騒音・振動が発生するため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	地下水の採取	○	地下水は生活用水等として現在使用しており、また、今回の増設事業では新たな地下水の利用を計画しているため、活動要素として選定する。	計画の変更においても地下水の利用を計画しているため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	悪臭の発生	○	廃棄物の埋立に伴って悪臭が発生する可能性があるため、活動要素として選定する。	計画の変更においても廃棄物の埋立に伴って悪臭が発生する可能性があるため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
	廃棄物の発生	○	浸出水の処理過程において副生塩が発生するため、活動要素として選定する。	計画の変更においても浸出水の処理過程において副生塩が発生するため、活動要素として選定する結果に影響はないと考えられる。
工作物の撤去又は廃棄	×	工作物を撤去又は廃棄する行為はないため、活動要素として選定しない。	計画の変更においても工作物を撤去又は廃棄する行為はないため、活動要素として選定しない結果に影響はないと考えられる。	

注) ○ : 活動要素として選定する。

× : 活動要素として選定しない。

□ : 対象事業が一般的な内容によって実施された場合の活動要素。

(2) 環境影響評価の項目への影響

事業計画の一部変更に伴う環境影響評価の項目の選定への影響を確認した。その結果は参考表2及び参考表3(1)～(8)に示すとおりである。

参考表2 環境要素設定マトリックス表

活動要素の区分 環境要素の区分		工事の実施										その他又は工作物の存在及び供用							
		樹木の伐採	切土又は盛土	湖沼又は河川の改変	海岸又は海底の改変	工作物の撤去又は廃棄	資材又は盛土の運搬	仮設工事	基礎工事	建設の設備工事	施設の存廃等	ばいじん又は粉じん等の発生	排出ガス(と動土等)	排水	騒音又は振動の発生	地下水の採取	悪臭の発生	廃棄物の発生	工作物の撤去又は廃棄
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気質	硫黄酸化物									×			×					
		窒素酸化物									○				○				
		浮遊粒子状物質(除じん)	○	○							○	○	○	○	○				
		有害物質																	
		揮発性有機化合物																	
		光化学オキシダント																	
		ベンゼン等																	
	ダイオキシン類																		
	水質	生活環境値-I		○							○	○	○	×		○			
		有害物質等													×		○		
		有害物質														○			
		有害物質等														○			
		水文環境	○	○							○	○	○		○		○		
		騒音	○	○					○	○	○	○				○			
振動		×	×					○	×	×	×				○				
地形及び地質等	地形																○		
	地盤		×																
	土壌		○								○			○					
	風害、光害及び日照障害																		
	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	植物	○	○							○	○	○	○					
		動物	○	○							○	○	○	○					
		陸水生物	○	○	○						○	○	○	○		○			
生態系		○	○	○						○	○	○	○		○				
海洋生物											×	×	×	×		×			
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観													○					
	人と自然との触れ合いの活動の場	○	○							○	○	○	○		○		○		
環境への負荷の量の程度により調査、予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物	○								○	○	○						×	
	残土		×								×	×							
	温室効果ガス等													○	○				

注1) ○：活動要素があり、その影響が予想されるため、環境要素として設定する。
 ×：活動要素があるが、影響が極めて小さい、あるいは影響がないため、環境要素として設定しない。
 2) ○：対象事業が一般的な内容によって実施された場合の活動要素。
 3) 赤字で示した活動要素は参考表1で選定された活動要素を示す。また、赤字で示した環境要素は選定された環境要素を示す。

参考表 3 (1) 環境影響評価の項目の選定

項目	活動要素の区分		選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果への影響
硫黄酸化物	工事	資材又は機械の運搬	×	対象事業実施区域に近い一般環境大気測定局における二酸化硫黄の濃度は、君津俵田測定局、市原平野測定局とも、環境基準を大きく下回っていること、また、道路沿道で二酸化硫黄を測定している測定局は千葉県には市原五井自排局と袖ヶ浦福王台測定局があるが、これらの地点でも環境基準を大きく下回っていること、交通量の多いこれらの測定局でも濃度が低いことから、国道410号、国道465号沿道ではより低い濃度が想定されること、さらに、硫黄酸化物はディーゼル車の排出ガス規制の対象になっていないことから、資材等運搬車両及び廃棄物搬入車両の走行に伴う二酸化硫黄の影響は非常に小さいと考えられるので、項目として選定しない。	廃棄物運搬車両の走行台数に変更があるが、左記と同様の理由により選定結果に影響はないと考えられる。
	存在供用	排出ガス(自動車等)	×		
大気質	工事	資材又は機械の運搬	○	資材運搬車両(大型車)の走行に伴い窒素酸化物が排出され、沿道には民家、保育園、集落が存在することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	存在供用	排出ガス(自動車等)	○	「廃棄物搬入車両の走行」 廃棄物搬入車両の走行ルートは、国道465号-林道戸面蔵玉線-林道大福山線ルート(以下、「南ルート」という。)、林道坂畑線(以下、「南西ルート」という。)、主要地方道大多喜君津線-市原市道85号線・君津市道・林道大福山線ルート(以下、「北ルート」という。)の3ルートを利用する計画である。走行台数は、南ルートは最大1日50台(往復換算100台)、南西ルートは最大1日25台(往復換算50台)、北ルートは最大1日25台(往復換算50台)で現在の走行台数と同じであり、増設に伴い交通量が増加することはないが、南ルート沿道には民家、南西ルート沿道付近には保育園、北ルート沿道には集落が存在することから、廃棄物搬入車両の走行による窒素酸化物の影響の程度を把握するため、項目として選定する。	廃棄物運搬車両の走行台数が北ルートは最大1日に25台から50台になるが、左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。

参考表 3 (2) 環境影響評価の項目の選定

項目	活動要素の区分		選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果への影響	
窒素酸化物	存在供用	排出ガス (自動車等)	×	<p>「埋立機械の稼働」</p> <p>窒素酸化物(二酸化窒素)については長期間曝露された場合に影響があるとされているが、事業実施区域周辺には民家等が存在しないことからその影響はないこと、また、短期的な影響についても埋立機械は排出ガス対策型を使用することから、自然歩道を利用する人達に対する影響もほとんどないと考えられること、さらに、君津環境整備センターで実施している二酸化窒素のモニタリング調査では環境基準を下回る濃度であり、埋立機械の稼働による大気質への影響は小さいと考えられることから、項目として選定しない。</p>	埋立機械の稼働計画に変更はないため、選定結果に影響はないと考えられる。	
		工事	樹林の伐採 切土又は盛土 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	<p>事業実施区域周辺には民家等が存在しないが、大福山及びその周辺は人と自然との触れ合いの活動の場となっており、自然歩道等の利用者にとって切土・盛土工事等に伴う粉じんの影響が懸念されることから、粉じんを項目として選定する。</p> <p>なお、浮遊粒子状物質については、長期間曝露された場合に影響があるとされているが、対象事業実施区域周辺には民家等が存在しないことからその影響はないこと、また、短期的な影響についても建設機械は排出ガス対策型を使用することから、自然歩道を利用する人達に対する影響もほとんどないと考えられること、さらに、君津環境整備センターで実施している浮遊粒子状物質のモニタリング調査では環境基準を下回る濃度であり、建設機械の稼働による大気質への影響は小さいと考えられることから、項目として選定しない。</p>	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
			資材又は機械の運搬	○	窒素酸化物と同様の理由により項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
大気質	浮遊粒子状物質 粉じん	存在供用	○	窒素酸化物と同様の理由により項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	

参考表 3 (3) 環境影響評価の項目の選定

項目		活動要素の区分		選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果への影響
大気質	浮遊粒子状物質 粉じん	存在 供用	ばい煙又は粉じんの発生	○	<p>事業実施区域周辺には民家等が存在しないが、大福山及びその周辺は人と自然との触れ合いの活動の場となっており、自然歩道等の利用者にとって埋立機械の稼働に伴う粉じんの影響が懸念されることから、項目として選定する。</p> <p>なお、供用時の浮遊粒子状物質については、工事で示した理由と同様の理由により、大気質への影響は小さいと考えられることから、項目として選定しない。</p>	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
水質	生活環境項目等	工事	切土又は盛土 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	切土・盛土工事等に伴い降雨時には下流河川へ濁水が排出されること、コンクリート打設工事に伴いアルカリ水が排出される可能性があることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
		存在 供用	施設の存在等	×	防災調整池が増設されるが、雨水を長時間貯留することはないと、水質が悪化することはないと考えられることから、項目として選定しない。	防災調整池計画の変更はないため、選定結果に影響はないと考えられる。
			排水	○	埋立地の増設に伴い浸出水の発生量が増加し、処理水の排水量が増えることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	有害物質等	存在 供用	施設の存在等	×	生活環境項目等と同様の理由により項目として選定しない。	生活環境項目等と同様の理由により選定結果に影響はないと考えられる。
		排水	○	生活環境項目等と同様の理由により項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	
	水底の底質	有機物質 有害物質等	存在 供用	排水	○	埋立地の増設に伴い浸出水の発生量が増加し、処理水の排水量が増えることから、項目として選定する。

参考表 3 (4) 環境影響評価の項目の選定

項目	活動要素の区分		選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果の変更の有無
水文環境	工事	樹林の伐採 切土又は盛土 基礎工事 施設の設置工事	○	樹林の伐採、切土・盛土工事等による地下水の涵養状況の変化、地下水脈の遮断等が生じる可能性があることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
		施設の存在等	○	埋立地等の存在により地下水の涵養状況が変化し得る可能性があることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	存在供用	排水	○	事業実施区域及びその周辺の地質は砂岩泥岩からなり、砂岩層の河床では河川水が地下に浸透し、地下水の一部になる可能性があることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
		地下水の採取	○	増設に伴い新たに地下水を採取することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
騒音	工事	樹林の伐採 切土又は盛土 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	事業実施区域周辺には民家等が存在しないが、大福山及びその周辺は人と自然との触れ合いの活動の場となっており、自然歩道等の利用者にとって工事に伴う騒音の影響が懸念されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
		資材又は機械の運搬	○	大気質の窒素酸化物と同様の理由により項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	存在供用	騒音の発生	○	「廃棄物搬入車両の走行」 大気質の窒素酸化物と同様の理由により項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
			○	「埋立機械の稼働」 事業実施区域周辺には民家等が存在しないが、大福山及びその周辺は人と自然との触れ合いの活動の場となっており、自然歩道等の利用者にとって埋立機械の稼働に伴う騒音の影響が懸念されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
振動	工事	樹林の伐採 切土又は盛土 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	×	対象事業実施区域周辺には民家等が存在せず、また、大福山及びその周辺の自然歩道の利用者等に対する振動の影響も距離が離れていることや野外での活動であることから、工事に伴う振動の影響は極めて小さいことから、項目として選定しない。	工事計画に変更はないため選定結果に影響はないと考えられる。
		資材又は機械の運搬	○	大気質の窒素酸化物と同様の理由により項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。

参考表 3 (5) 環境影響評価の項目の選定

項目	活動要素の区分		選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果の変更の有無
振動	存在供用	振動の発生	○	「廃棄物搬入車両の走行」 大気質の窒素酸化物と同様の理由により項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
			×	「埋立機械の稼働」 事業実施区域周辺には民家等が存在せず、また、大福山及びその周辺の自然歩道の利用者等に対する振動の影響も距離が離れていることや野外での活動であることから、埋立機械の稼働に伴う振動の影響は極めて小さいことから、項目として選定しない。	埋立機械稼働計画の変更はないため、選定結果に影響はないと考えられる。
悪臭	存在供用	悪臭の発生	○	事業実施区域周辺には民家等が存在しないが、大福山及びその周辺は人と自然との触れ合いの活動の場となっており、自然歩道の利用者等にとって廃棄物の埋立に伴う悪臭の影響が懸念されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
地形及び地質等	工事	切土又は盛土 仮設工事 基礎工事	○	切土・盛土工事等に伴い地形が改変されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	存在供用	施設が存在等	○	廃棄物の埋立に伴い地形が変化することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
地盤	工事	切土又は盛土 基礎工事	×	事業実施区域は丘陵地にあり、地質は砂岩泥岩互層で軟弱地盤ではなく、地盤沈下も認められていないことから、項目として選定しない。	事業実施区域の位置に変更はないため、選定結果に影響はないと考えられる。
土壌	工事	切土又は盛土 基礎工事	○	事業実施区域及びその周辺では自然由来の砒素が地層中に含まれ、工事中、雨水等の流出に伴い溶出してくる可能性があることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	存在供用	排水	○	事業実施区域及びその周辺では自然由来の砒素が地層中に含まれ、覆土置場からの雨水等の流出に伴い溶出してくる可能性があることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
風害 光害及び日照障害	存在供用	施設が存在等	×	風害又は日照障害を生じるような高層建築物は計画していないこと、事業実施区域周辺には民家等が存在しないこと、また、夜間は操業しないことから、項目として選定しない。	左記に係る変更計画はないため、選定結果に影響はないと考えられる。

参考表 3 (6) 環境影響評価の項目の選定

項目	活動要素の区分	選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果の変更の有無	
植物	工事 樹林の伐採 切土又は盛土 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	工事に伴い植生が改変されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	
	存在供用 施設の存在等	○	施設の存在に伴い植物の生育環境が変化することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	
動物	工事 樹林の伐採 切土又は盛土 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	工事に伴い動物の生息環境が改変されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	
	存在供用 施設の存在等	○	施設の存在・供用に伴い動物の生息環境が変化することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	
陸水生物	工事 樹林の伐採 切土又は盛土 湖沼又は河川の 改変 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	工事に伴い陸水生物の生育・生息環境が改変されること、工事に伴う濁水の発生、排水により陸水生物の生息・生育環境が変化することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	
	存在供用	施設の存在等	○	施設の存在・供用に伴い陸水生物の生息・生育環境が変化することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
		排水	○	埋立地の増設に伴い浸出水の発生量が増加し、処理水の排水量が増えることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
生態系	工事 樹林の伐採 切土又は盛土 湖沼又は河川の 改変 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	工事に伴い植生が改変され、また、動物、陸水生物の生育・生息環境が改変されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。	
	存在供用	施設の存在等	○	施設の存在に伴い植物の生育環境、動物、陸水生物の生育・生息環境が変化することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
		排水	○	埋立地の増設に伴い浸出水の発生量が増加し、処理水の排水量が増えることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。

参考表 3 (7) 環境影響評価の項目の選定

項目	活動要素の区分		選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果の変更の有無
海洋生物	工事	仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	×	事業実施区域及びその周辺には海岸はないことから、項目として選定しない。	左記理由により、選定結果に影響はないと考えられる。
	存在供用	施設の存在等 排水			
景観	存在供用	施設の存在等	○	施設の存在・供用により景観が変化することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
人と自然との触れ合いの活動の場	工事	樹林の伐採 切土又は盛土 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	事業実施区域内には人と自然との触れ合いの活動の場はないが、周辺の大福山及びその周辺は人と自然との触れ合いの活動の場となっており、自然歩道等の利用者にとって工事に伴う騒音の影響が懸念されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	存在供用	施設の存在等 騒音の発生 悪臭の発生	○	事業実施区域周辺の大福山及びその周辺は人と自然との触れ合いの活動の場となっており、自然歩道の利用者等にとって埋立施設の存在による景観への影響、埋立機械の稼働に伴う騒音の影響、埋立作業に伴う悪臭の影響が懸念されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
廃棄物	工事	樹林の伐採 仮設工事 基礎工事 施設の設置工事	○	工事に伴い廃棄物が発生することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
	存在供用	廃棄物の発生	×	浸出水処理施設には塩化物イオン等を処理する施設として脱塩処理設備を追加整備する計画であるが、現在は発生した副生塩はフレコンバッグに梱包し、場内に一時保管した後、産業廃棄物処理業者に委託処理しており、増設後も同様の処理を行う計画であることから、副生塩の発生に伴う対象事業実施区域及びその周辺における影響はないことから、項目として選定しない。	副生塩処理計画の変更はないため、選定結果に影響はないと考えられる。
残土	工事	切土又は盛土 仮設工事 基礎工事	×	工事に伴う残土は対象事業実施区域内で盛土材、覆土材等として利用し、また、未利用の残土は区域内に残置することから、区域外への搬出はないことから、項目として選定しない。	残土の利用・排出に係る計画に変更はないため、選定結果に影響はないと考えられる。

参考表 3 (8) 環境影響評価の項目の選定

項目	活動要素の区分		選定結果	選定する理由又は選定しない理由	計画変更に伴う選定結果の変更の有無
温室効果ガス等	存在/供用	施設の有無等	○	廃棄物の埋立地から温室効果ガスが発生すること、浸出水処理施設の稼働に伴い電力を使用することから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。
		排出ガス(自動車等)	○	廃棄物搬入車両の走行、埋立機械の稼働に伴い温室効果ガスが排出されることから、項目として選定する。	左記と同様の影響が考えられるため、影響はないと考えられる。

注) ○：環境影響評価項目として選定する

×：環境影響評価項目として選定しない

(3) 対象事業の内容の変更に伴う調査、予測及び評価の手法及び結果への影響

事業計画の一部変更に伴い、調査、予測及び評価の手法及び結果への影響を確認した。大気質、騒音及び振動については、2. 評価書の記載内容の変更（変更前・変更後）のとおり変更内容を示した。その他の項目については、参考表4(1)～(2)に示すとおりであり、事業計画の変更に伴う影響はないと考えられる。

また、大気質、騒音及び振動に係る予測地点図を参考図1～3に示した。

参考表4(1) 調査、予測及び評価手法の再検討

項目		活動の区分		調査・予測・評価手法及び結果への影響
大気質	浮遊粒子状物質(粉じん)	工事	樹林の伐採、切土又は盛土、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	施工区域及び覆土置場の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
		存在供用	ばい煙又は粉じんの発生	埋立区域の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
水質	生活環境項目等	工事	切土又は盛土、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	施工区域及び覆土置場の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
		存在供用	排水	計画排水水質の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
	有害物質等	存在供用	排水	計画排水水質の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
水底の底質	有機物質有害物質等	存在供用	排水	計画排水水質の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
水文環境		工事	樹林の伐採、切土又は盛土、基礎工事、施設の設置工事	土地利用計画を変更するものではないため、影響はないと考えられる。
		存在供用	施設の存在等	埋立地等の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
			排水	計画排水水質の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
			地下水の採取	地下水の利用計画の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
騒音	工事	樹林の伐採、切土又は盛土、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	施工区域の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。	
	存在供用	騒音の発生(埋立機械の稼働)	埋立機械稼働計画の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。	
悪臭	存在供用	悪臭の発生	埋立区域の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。	
地形及び地質等		工事	切土又は盛土、仮設工事、基礎工事	土地利用計画を変更するものではないため、影響はないと考えられる。
		存在供用	施設の存在等	埋立区域の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。

参考表 4 (2) 調査、予測及び評価手法の再検討

項目	活動の区分		調査・予測・評価手法及び結果への影響
土 壌	工事	切土又は盛土、基礎工事	土地利用計画を変更するものではないため、影響はないと考えられる。
	存在 供用	排水	覆土置場の形状の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
植 物	工事	樹林の伐採、切土又は盛土、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	施工区域の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
植 物	存在 供用	施設の存在等	土地利用計画を変更するものではないため、影響はないと考えられる。
動 物	工事	樹林の伐採、切土又は盛土、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	土地利用計画を変更するものではないため、影響はないと考えられる。
	存在 供用	施設の存在等	埋立地の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
陸水生物	工事	樹林の伐採、切土又は盛土、湖沼又は河川の改変、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	施工区域の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
		施設の存在等	埋立地の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
	存在 供用	排水	計画排水水質の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
生態系	工事	樹林の伐採、切土又は盛土、湖沼又は河川の改変、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	土地利用計画を変更するものではないため、影響はないと考えられる。
		施設の存在等	埋立地の位置の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
	存在 供用	排水	計画排水水質の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
景 観	存在 供用	施設の存在等	埋立地、覆土置場の形状の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
人と自然との触れ 合いの活動の場	工事	樹林の伐採、切土又は盛土、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	事業実施区域を変更するものではなく、埋立地、覆土置場の形状も変更はないため、影響はないと考えられる。
	存在 供用	施設の存在等、騒音の発生、悪臭の発生	埋立地の位置及び埋立機械の稼働計画に変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
廃棄物	工事	樹林の伐採、仮設工事、基礎工事、施設の設置工事	埋立施設及び浸出水処理施設の変更はないため、影響はないと考えられる。
温室効果ガス等	存在 供用	施設の存在等	埋立機械稼働計画の変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。
		排出ガス(自動車等)	埋立計画容量に大きな変更はないため、調査手法等への影響はないと考えられる。



参考図1 資材等及び廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質予測地点位置図

凡 例

- 予測地点（地点1～6）
- 資材等及び廃棄物運搬車両走行ルート

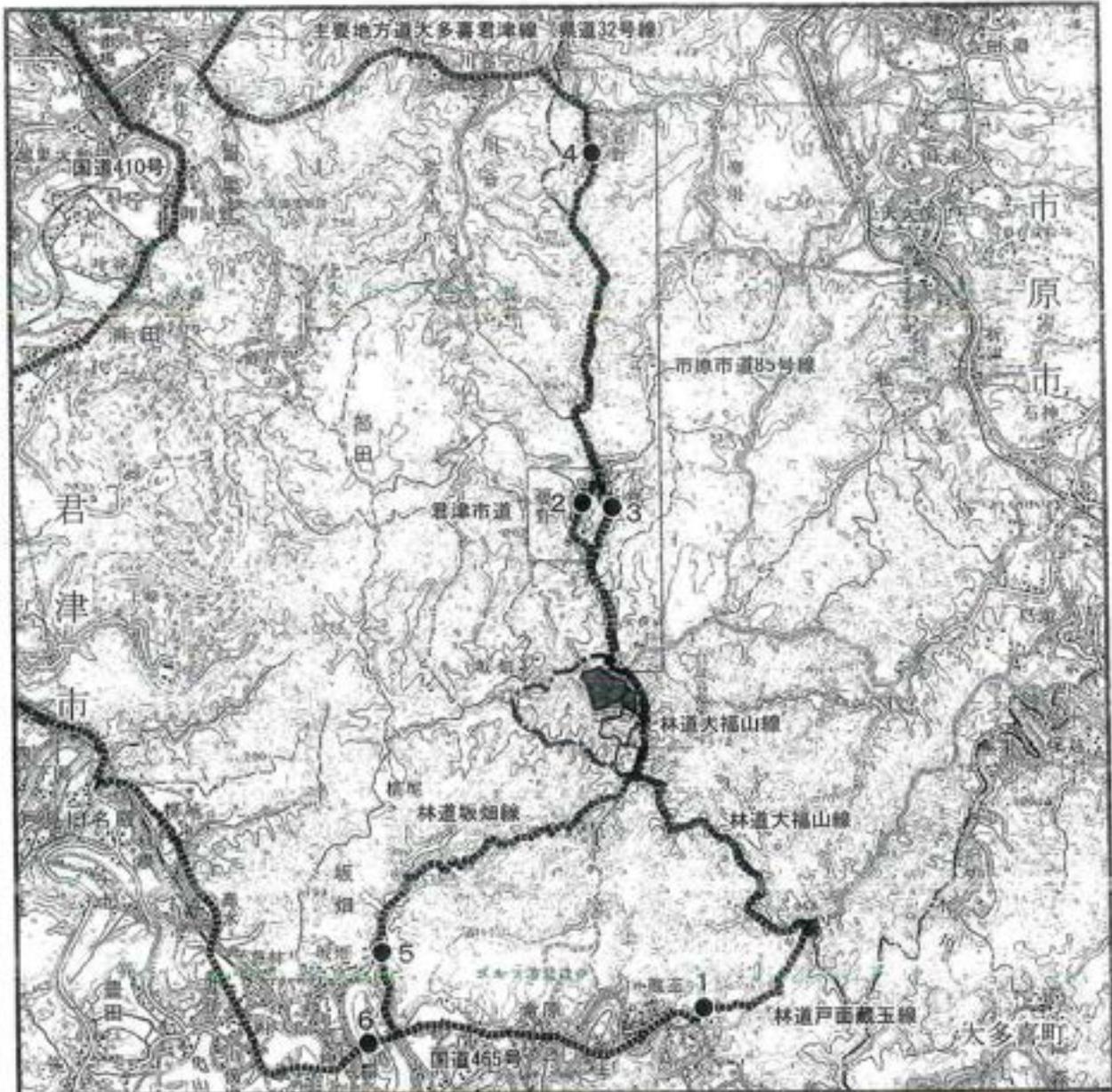
対象事業実施区域



1 : 50,000

0 500 1,000 2,000m





参考図2 資材等及び廃棄物運搬車両の走行に伴う道路交通騒音予測地点位置図

凡 例

- 予測地点（地点1～6）
- 資材等及び廃棄物運搬車両走行ルート

対象事業実施区域



1 : 50,000

0 500 1,000 2,000m





参考図3 資材等及び廃棄物運搬車両の走行に伴う道路交通振動予測地点位置図

凡 例

● 予測地点（地点1～6）

----- 資材等及び廃棄物運搬車両走行ルート

対象事業実施区域



1 : 50,000

